

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	日本語総合
科目基礎情報					
科目番号	0014		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教養		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	高専日本語アビリティ I・II (阿南高専) / 級別漢字学習帳7級~2級 (東京法令出版)				
担当教員	坪井 泰士				
到達目標					
1.情報の収集・分析・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。 2.文学的な文章を表現に即して読み味わい、説明できる。 3.論理的な文章について、その論拠の妥当性を判断し、自分の意見を述べるができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安
到達目標1	情報の収集・分析・整理を適切に行い、論理的な構成、適切な表現スキルにより口頭発表できる。		情報の収集・分析・整理を適切に行い、論理的な構成により口頭発表できる。		情報の収集・分析・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。
到達目標2	文学的な文章を表現に即して読み味わい、自分の考えを加えて適切に説明できる。		文学的な文章を表現に即して読み味わい、適切に説明できる。		文学的な文章を表現に即して読み味わい、説明できる。
到達目標3	論理的な文章について、その論拠の妥当性を的確に判断し、自分の意見を論理立てて述べるができる。		論理的な文章について、その論拠の妥当性を的確に判断し、自分の意見を述べるができる。		論理的な文章について、その論拠の妥当性を判断し、自分の意見を述べるができる。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日本語の表現に関する基礎知識・技術を理解し、論理的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。				
授業の進め方・方法	授業は、文章表現および口頭表現に関する学習・練習を基本とする。また、小説・詩の鑑賞により社会を見つめる視野拡大の起点を獲得し、評論読解や漢字学習により理解や表現の力を培う。 【学習時間60時間】				
注意点	毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（漫画、雑誌、テキストを除く）。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。	
		2週	表現法①	文末表現、修辞法（比喩的修辞）を活用して、表現できる。	
		3週	表現法②	修辞法（比喩的修辞以外のもの）を活用して、表現できる。	
		4週	表現法③	設疑法、反語法を活用して、表現できる。	
		5週	小説の鑑賞①	鑑賞技法を活用して、『枯野抄』を鑑賞できる。	
		6週	小説の鑑賞②	『枯野抄』についての鑑賞をチームで共有し、まとめられる。	
		7週	小説の鑑賞③	『枯野抄』についてのチームの鑑賞を、役割分担をして発表し、質疑に回答できる。	
		8週	前期中間試験	学習のまとめ	
	2ndQ	9週	文章表現①	読書感想文のテンプレートについて、論文との違いを説明できる。	
		10週	文章表現②	既習の表現法を活用して、読書感想文を執筆できる。	
		11週	文章表現③	読書感想文を、自身で校正できる。	
		12週	文章表現④	助言を受けて表現法を改善し、読書感想文を執筆できる。	
		13週	表現法④	構成法（3段構成）と接続の言葉を活用し、評論を読解できる。	
		14週	表現法⑤	設疑法、反語法や文末表現等の表現法に留意し、意見文を執筆できる。	
		15週	表現法⑥	助言を受けて表現法を改善し、意見文を執筆できる。	
		16週	答案返却	学習のまとめ	
後期	3rdQ	1週	評論読解①	評論の構造を理解し、読解の方法を説明できる。	
		2週	評論読解②	評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示ができる。	
		3週	評論読解③	評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示ができる。	
		4週	評論読解④	評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示を行い、共有できる。	
		5週	スピーチ①	文章表現との違いに留意し、スピーチ技法を説明し、構成シートを作成できる。	
		6週	スピーチ②	練習スピーチによりスピーチskillを理解し、改善のポイントを説明できる。	
		7週	スピーチ③	スピーチskillを適切に活用し、効果的にスピーチできる。	

	8週	中間試験	学習のまとめ
4thQ	9週	詩の鑑賞①	鑑賞技法（小説との共通点、違い）を活用して、『初恋』を鑑賞できる。
	10週	詩の鑑賞②	近代文学史概観を理解し、詩を鑑賞できる。
	11週	詩の鑑賞③	既習の表現法および詩特有の表現法をふまえ、詩を鑑賞できる。
	12週	詩の鑑賞④	既習の表現法および詩特有の表現法をふまえ、詩を鑑賞し、暗唱できる。
	13週	CMコピーの分析①	既習の表現法を整理し、説明できる。
	14週	CMコピーの分析②	既習の表現法を活用し、CMコピーを分析できる。
	15週	まとめ	到達目標に照らし、学習内容を点検し、整理できる。
	16週	答案返却	学習のまとめ

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前2,前3,前4,前8,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後13,後14,後15,後16
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前2,前3,前4,前9,前13,前14,前15,前16,後2,後3,後4,後8,後13,後14,後15,後16
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前16,後8,後9,後10,後11,後12,後15,後16
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後8,後13,後14,後16
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後8,後13,後14,後16
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15,後16
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15,後16
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	前6,前7,前14,前15,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	前7,後5,後6,後7,後8,後16
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前6,前7,後4,後16
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前6,後4,後16
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前6,後4,後16				

評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	80	0	10	5	5	100
基礎的能力	80	0	10	5	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0